

「腸内細菌の検体袋変更」と「検便の採取方法」

このたび、新システム導入に伴いまして、腸内細菌検査を御提出いただく際のラベル・袋を変更いたしました。バーコード受付での対応により、精度の向上と効率化を図って参ります。今回は、その使用方法と検便の採取について、ご案内させていただきます。

- ① 検体用袋に
印字してある
お名前がご自分
のお名前か、
ご確認ください。



- ② 袋表面のラベル
部分をはがし、
図のように、
容器に縦長に
貼ってください。



←キャップに巻く
横向きに貼る→
バーコード読み取りに支障が
ありますので、お避けください。



採取方法



- ③ 便にスティックの先端を2、3回刺し(または表面にこすりつけて)、先端の穴部分に便を**あずき大程度**採取してください。

※軟便の場合も同じくらいの量を採取してください。

※目視確認できない場合、量不足で検査結果をお出し出来ない場合があります。

《キャップがパチンと音がするまで容器に押し込み、
しっかりと閉めてご提出ください。》

■当日、もしくは直前日の採取をお願いします。

◆スティックを肛門に挿入しての採取はおやめ下さい。

※十分な量が採取できません。体内に傷をつける恐れもあります。

■直射日光に当てず、涼しい場所で保存して下さい。

ノロウイルス検査は別の専用容器になります

- ⑤ 袋の右端が
シール仕様
になって
おります。
シールを
はがし、
点線部分
で折り曲
げ、封を
してください。



- ④ ご自分の検体
用袋に、ラ
ベルを貼
った容器
を入れて
ください。



株式会社 **九州保健ラボラトリー**
Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuhoh.co.jp>